



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

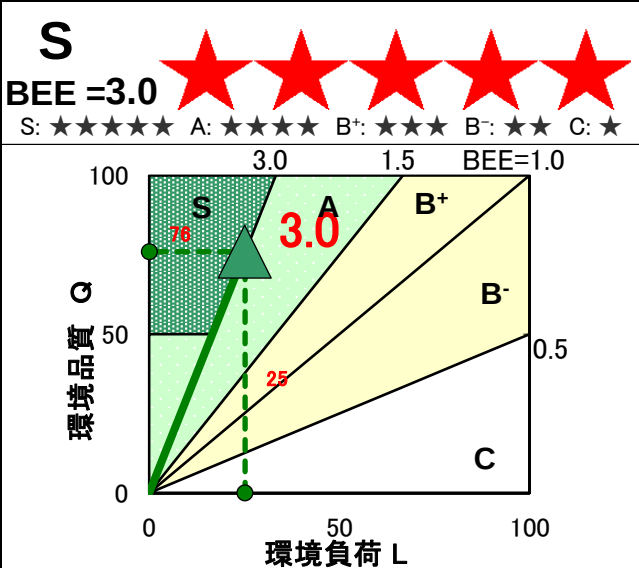
1-1 建物概要

建物名称	うめきた2期区域開発事業 南街区賃貸棟工事	
建設地	北区大深町	
建築用途	事務所、ホテル、物販店舗、飲食店舗、集会場、公衆浴場、自動車車庫	
建築主	三菱地所(株) 他7者	
設計者	うめきた2期区域設計監理業務共同企業体(株)三菱地所設計 他3者	
敷地面積	25,262.07	m ²
建築面積	17,086.72	m ²
延床面積	314,249.30	m ²
構造/階数	S造	/ 地上39階、地下3階
完了年(予定)	2024年11月	

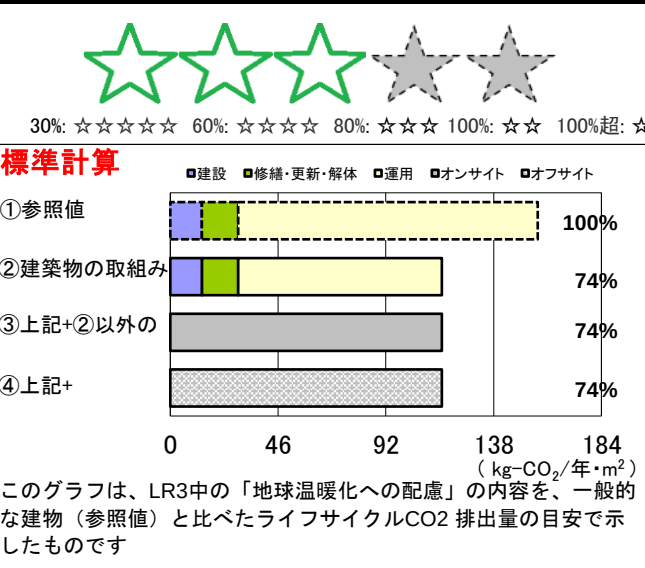
1-2 外観



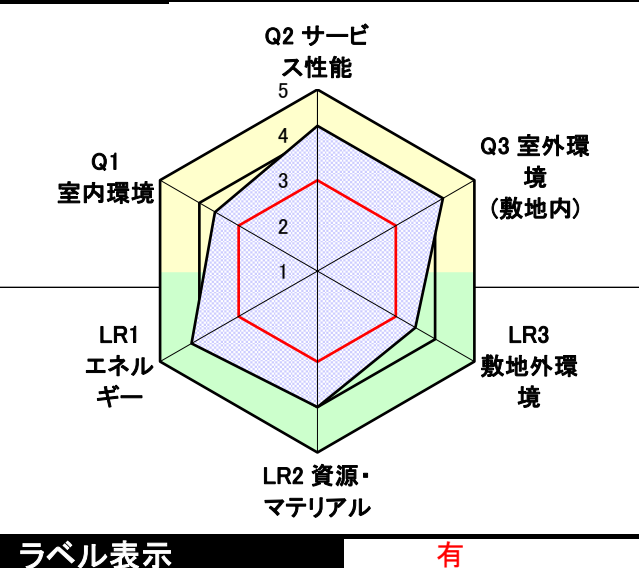
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



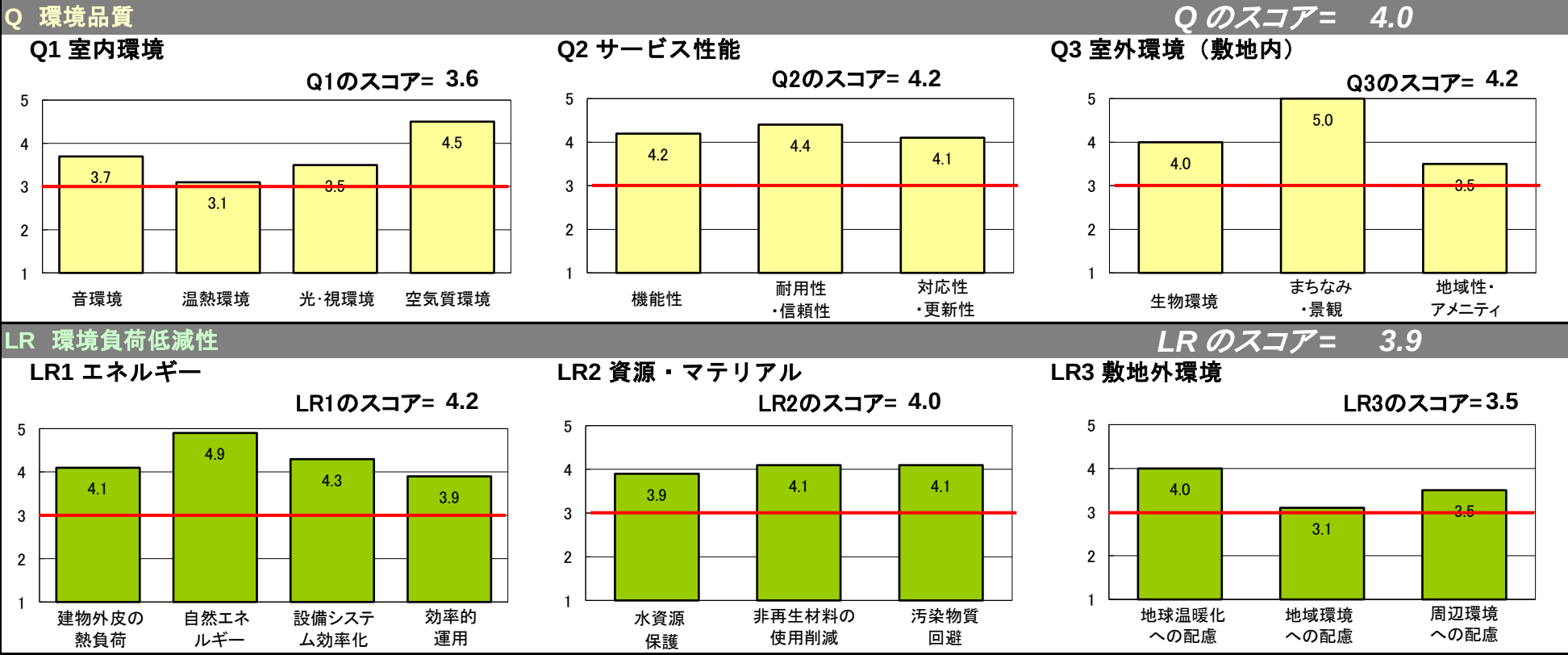
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 基準階オフィス部分は、立地にふさわしい執務空間の実現と環境共生を両立。ホテル部分はサービス性能、清潔感、開放感、自然光、遮音性能、断熱性能に配慮した計画。		その他
Q1 室内環境 ・オフィスは空間、設備仕様に配慮した計画。 ・開口部遮音性能、界壁遮音性能等、ホテルは音に配慮。 採光可能な開口部を最大限確保した明るく健やかな空間。	Q2 サービス性能 ・オフィスはサービス性能を確保し、メンテナンス性にも配慮した計画。 ・ホテルは防汚性に配慮した内装材・コンセプトが明快な内装計画。客室の面積、階高、天井高に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 立地特性に配慮し良好な景観の創出や、賑わいの創出を目的とした建物計画としている。緑化は公園との連続感を図ると共に、歩行者のアメニティ等配慮された計画としている。
LR1 エネルギー ・オフィス基準階部分は、北側公園への眺望に配慮および熱環境負荷低減を両立する外皮仕様を計画 ・ホテルフロアには光庭を採用した積極的な自然光の取入れ。 ・客室には Low-E複層ガラスを使用	LR2 資源・マテリアル ・躯体材料におけるリサイクル材の活用 ・再利用可能な建材の採用	LR3 敷地外環境 風環境のシミュレーションのほか、交通量の詳細な把握に基づく駐車場計画等を行っており、敷地外への負荷とできるだけ縮小する計画としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 三菱地所(株)地球温暖化への配慮	4.0
配うめきた2期	ラウフサイクルCO2排出量＝72%

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	4.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内、建物テラス部への緑化	

環境性能		評価点	
(3) 建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.1	
配慮事項	Low-E複層ガラス採用		

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.3	
配慮事項	LED照明、コ・ジェネレーション、帯水層蓄熱		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.89
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.68	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.68

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 180 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ ー 三菱地所（株） 他7者 うめきた2期区域設計監理業務共同	☒ なし ☐ あり
	方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位（ ）高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 200.0 ）㎡方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 80.0 ）㎡
ウ 設置可能容量	（ 12.0 ）kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☒ あり ☐ なし
オ 設置に備えた対応	☐ なし ☒ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☒ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☐ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ 80.0 ）㎡
イ 発電容量	（ 14.4 ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 180 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ ー 三菱地所（株） 他7者 うめきた2期区域設計監理業務共同	☒ なし ☐ あり 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	事務所、ホテル
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☒ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 150.0 ）㎡
エ 概算年間熱利用量	（ 326,550 ）MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ）㎡
イ 概算年間熱利用量	（ ）MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考